

社団法人 日本病院会 平成19年度 第2回 定例常任理事会 合同会議 速報録
第1回 定例理事会

日 時 平成19年5月26日(土) 午後1時～3時

場 所 東京都・中央区 ロイヤルパークホテル 3階「ロイヤルCの間」

出席者 63名(定数66名、出席52名、委任状11名、計63名で過半数34名を超え会議は成立)

山本会長から開会挨拶が述べられた後、中山耕作前会長のお別れ会を7月8日(日)に実施する旨の報告に続き、河野稔元副会長のご逝去(5月16日)を報告し、出席者全員による黙祷を実施した。議事録署名人に吉田哲憲、高野正博両理事を選任し議案審議に入った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

正会員の入会8件、退会6件、賛助会員退会7件、特別会員A入会1件の届出について協議した結果、届出を承認した。5月26日現在、正会員2,688会員(公的929会員、私的1,759会員)賛助会員487会員(A会員111会員、B会員335会員、D会員41会員)特別会員A2会員。

2. 各団体からの依頼について

下記依頼事項について協議した結果、依頼を承認した。

(継続：協賛、後援依頼)

- ①第29回第2種ME技術実力検定試験(日本生体医工学会)協賛依頼
- ②第14回日本療養病床協会全国研究会(日本療養病床協会)後援依頼
- ③第18回全国介護老人保険施設愛知大会(全国老人保健施設協会)後援依頼

3. 平成18年度事業報告書(案)について

時間の関係上、事業報告書を事前送付しており総括を基に、会員状況、委員会・部会の活動、通信教育事業、各種学会の開催概要、国際活動等について概要説明が実施された。併せて、本会が認定個人情報保護団体として3月に厚生労働大臣に認可され、会員サービスに努めると報告があった。内容に関し、特段の質疑もなく原案を了承し、代議員会、総会に上程することを承認した。

4. 平成18年度収支決算書(案)について

一般会計、特別会計の収支について逐一説明があり、内容を承認し、代議員会、総会に上程することとした。

平成18年度 収支決算書総括表
平成18年4月1日～平成19年3月31日

社団法人 日本病院会
(単位：円)

科 目	合 計	一 般 会 計	事業特別会計	基 本 財 産 特 別 会 計	退職手当積立金 特 別 会 計	I H F国際交流 基金特別会計	事業安定推進 基金特別会計
I. 収入の部							
1. 会費収入	303,958,370	303,958,370	0	0	0	0	0
2. 事業収入	731,563,504	9,695,860	721,867,644	0	0	0	0
3. 賛助会員会費並に寄付金	30,138,260	30,138,260	0	0	0	0	0
4. 雑収入	32,095,573	31,419,809	94,326	69,434	104,590	47,216	360,198
5. 他会計より繰入金収入	568,086,400	543,086,400	0	0	5,000,000	20,000,000	0
当期収入合計	1,665,842,107	918,298,699	721,961,970	69,434	5,104,590	20,047,216	360,198
前期繰越収支差額	1,481,539,335	74,464,227	69,238,276	190,235,791	198,550,739	141,946,422	807,103,880
収入合計	3,147,381,442	992,762,926	791,200,246	190,305,225	203,655,329	161,993,638	807,464,078
II. 支出の部							
1. 事業費	603,886,834	167,689,592	419,526,274	0	0	16,670,968	0
2. 負担金	79,781,336	77,437,800	0	0	0	2,343,536	0
3. 会議費	42,635,336	42,635,336	0	0	0	0	0
4. 事務諸費	292,075,015	292,075,015	0	0	0	0	0
5. 他会計へ繰入金支出	568,086,400	25,000,000	340,000,000	0	3,086,400	0	200,000,000
当期支出合計	1,586,464,921	604,837,743	759,526,274	0	3,086,400	19,014,504	200,000,000
当期収支差額	79,377,186	313,460,956	△ 37,564,304	69,434	2,018,190	1,032,712	△ 199,639,802
次期繰越収支差額	1,560,916,521	387,925,183	31,673,972	190,305,225	200,568,929	142,979,134	607,464,078

5. 顧問・参与等の委嘱について

顧問（継続依頼8名、新規依頼3名）、参与（継続依頼10名、新規依頼2名）、名誉会員（7名）について（案）が提出され、協議の結果、原案を承認し、代議員会、総会に上程することとした。

顧 問

大道 學	医療法人 大道会理事長	継続
登内 眞	土浦協同病院名誉院長	継続
依田 忠雄	岡山赤十字病院名誉院長	継続
武田 隆男	武田病院グループ会長	新規
奈良 昌治	足利赤十字病院名誉院長	新規
丹羽 雄哉	衆議院議員	継続
武見 敬三	参議院議員	継続
鴨下 一郎	衆議院議員	継続
清水鴻一郎	衆議院議員	新規
後藤田正純	参議院議員	新規
唐澤 祥人	日本医師会会長	継続

参 与

相川 直樹	慶応義塾大学病院院長	継続
伊賀 立二	日本病院薬剤師会会長	新規
岩崎 榮	日本医療機能評価機構理事	継続
宇沢 弘文	東京大学名誉教授	継続
鴨下 重彦	国立国際医療センター名誉総長	新規
行天 良雄	医事評論家	継続
高久 史麿	自治医科大学学長	継続
武谷 雄二	東京大学医学部附属病院院長	所属長交代

松田 朗	日本医業経営コンサルタント協会会長	継続
久常 節子	日本看護協会会長	継続
矢崎 義雄	独立行政法人国立病院機構理事長	継続
渡辺 俊介	日本経済新聞社論説委員	新規

名誉会員

武田 隆男	武田病院グループ会長
奈良 昌治	足利赤十字病院名誉院長
土屋 章	澁野辺総合病院理事長
福井 順	長崎記念病院顧問
織本 正慶	織本病院名誉理事長
秋山 洋	虎の門病院顧問
福田 浩三	上飯田リハビリテーション病院名誉院長

6. 代議員の交代について

下記代議員の交代を承認した。

①大阪府

(新) ^{いま}今 ^{おか}岡 ^{しん}真 ^ぎ義 (都道府県・大阪府成人病センター 総長)

(旧) ^{ひと}人 ^み見 ^{しげ}滋 ^き樹 (日赤・高槻赤十字病院 前院長)

②兵庫県

(新) ^{たけ}竹 ^{うち}内 ^{ひで}秀 ^お雄 (市町村・公立豊岡病院組合立豊岡病院 院長)

(旧) ^{にし}西 ^{むら}村 ^{おき}興 ^{つぐ}亜 (市町村・公立社総合病院 院長)

7. 人間ドック健診施設機能評価の認定について

下記施設の指定を承認した。

①長野県・JA 長野厚生連 篠ノ井総合病院

②千葉県・成田赤十字病院

③山形県・庄内医療生活協同組合 鶴岡協立病院

④東京都・新宿追分クリニック

⑤香川県・香川県立がん検診センター

⑥岡山県・ES クリニック

⑦奈良県・西奈良中央病院

8. 役員報酬について

「役員報酬の支給」が緊急提案され、協議の結果、承認され、代議員会、総会に上程することとした。

〔協議事項〕

1. 当面の諸問題について

本会の活動基本方針（案）を示し、基本方針実現させるため 22 の委員会設置し、迅速な対応を図りたいと提案があり逐一説明があった。協議の結果、提案を了承し、代議員会、総会で発表することとした。

活動基本方針

I. 病院医療の再生と質の向上を目指して

1. 医療政策

医療の質の向上と安全の確保、および病院経営基盤の充実により、国民・患者の求める医療に対応できる医療環境の整備

1) 病院の医師・看護師確保に関する活動・提言

医師、看護師の定着政策、数と質の確保、地域偏在、科偏在の解消、医師の雇用と労働環境の改善等

2) 病院、診療所の機能分化と患者中心のシームレスな医療提供体制の構築

地域医療を支える中小病院の役割と位置づけ等

3) 地域の状況を踏まえた医療提供体制の確保と連携

地域の状況に見合った医療提供体制の構築

4) 医療機関の情報提供推進

地域住民、医療機関同士が必要な情報を適切に提供利用できる仕組みの構築

5) 医療事故処理制度と無過失保障制度の創設

医師が安心して働ける制度、国民、患者の信頼に結びつく制度の構築

6) 研修医制度（初期・後期）の充実と適切な専門医制度の構築

医師の実力が養成され、国民の信頼に結びつく専門医制度の構築

7) その他必要な事項

2. 健康保険制度と診療報酬

必要な医療が適切に提供でき、質の向上と安全の確保につながる制度と診療報酬

1) 国民皆保険の適切な維持を推進

高齢者に対する適切な医療、地域の状況を踏まえた制度と報酬、先進医療・新薬導入の迅速化推進等

2) 診療報酬のプラス改定要求

国民の要望、医学の進歩、高齢社会等に見合った診療報酬
病院における医師、看護師の労働環境改善に必要な診療報酬

3) 診療コストと技術料を適切に反映する診療報酬

4) 国民・患者にわかりやすい仕組み

5) 医療と介護のシームレスな連携に結びつく制度の構築

3. 医療費財源の確保

医療の進歩と高齢者の増加により国民医療費は確実に増加
疾病予防とともに必要な医療費確保のため公費投入の拡大

II. 上記の活動に必要な委員会の活性化と中医協対応

急激な動きに対応可能な体制の整備

III. 組織強化活動と会員サービスの推進

情報提供、研修会、会員の意見を聴取・反映する仕組みの強化
地域病院協会及び他病院団体との連携強化

IV. 学会、各種セミナー、人材育成、研修事業の推進

日本病院学会、日本診療録管理学会、日本人間ドック学会等
臨床研修指導医研修、安全管理者養成研修、感染管理者養成研修、診療情報管理士
養成、病院事務管理者養成

V. 国際活動の推進

WHO: ICD 改定推進、AHF/IHF 関連活動及びその活動を通じて世界における日本病院会
の位置付けを確保

VI. 内部業務の見直しと活性化

情報収集・分析機能の充実、人材育成、人事交流と協力体制の構築
IT化の推進、医療界の激しい動きに対応可能な体制の整備等

〔報告事項〕

時間の関係から下記委員会報告は資料一読の上、報告に替えた。

1. 各委員会関係の開催報告について

(1) 日本人間ドック学会 特定健診・特定保健指導対策委員会（第1回・4月27日）

- ①4月20日に実施した説明会（基礎編）には1,916名（医師610名、保健師266名、管理栄養士219名、看護師195名、事務系等432名）の参加。次回は、7/28に開催。
- ②特定健診・保健指導用教材等は、受診者向け教材のパンフレット作成し、会員等に配布を実施。DVDの教材として、「総論」「食事編」「運動編」を30分の長さで作成予定。
- ③認定証へのロゴマークのデザインを選定した。

(2) 人間ドック健診施設機能評価作成のためのワーキンググループ（第1回・4月27日）

- ①全体の方向性として、人間ドック健診施設機能評価バージョン2.0のスタート時期、評価基準案等を検討した。等

(3) 日本人間ドック学会・評価基準の重点項目設定を検討するためのワーキンググループ（第1回・5月10日）

- ①基本的な考え方として、目的、公表範囲、検討期限、性格・定義、設定方法を検討。

(4) 日本人間ドック学会・基本問題検討委員会（第1回・5月10日）

- ①人間ドック健診情報管理指導士の養成について：第1回・7月28日（土）～29日（日）、第2回・8月4日（土）～5日（日）、第3回・9月～10月を予定。
- ②人間ドックアドバイザーのロゴマークを承認。
- ③本法人平成18年度決算を了承。会費の見直しを検

討。等

(5) 人間ドック健診施設機能評価委員会/予防医学打合せ会（第2回・5月10日）

①人間ドック健診施設機能評価について：申請状況、7施設の認定を審議。②今後の研修会等の予定について：人間ドック認定医研修会（16回）は、6月16日に大阪で開催。特定健診・特定保健指導健診データ取扱い及び費用の請求等に関する説明会は、7月10日に開催。③健保連等との指定契約について等。

(6) 医療材料調査打合せ会（第2回・5月8日）

①手術時の医療材料に関する調査について：調査結果は、医療経済・税制委員会で最終の取りまとめを実施。②病院経営分析調査について。

(7) 病院経営管理者協議会理事会（第1回・5月19日）

①平成18年度事業報告、収支決算報告について：原案どおり承認。②平成19年度事業計画、収支予算について：原案どおり承認。

(8) 病院経営管理者協議会・研修会（第1回・5月19日）

参加者60名（会員28名、会員外32名）での開催。

(9) 平成19年度病院経営管理者協議会・総会（第1回・5月19日）

①平成18年度事業報告に関する件：原案どおり承認。②平成18年度収支決算及び監査報告について：収支決算及び監査報告を承認。③平成19年度事業計画及び収支予算について：原案を承認。

(10) 病院経営管理者協議会・編集委員会（第1回・5月11日）

①会誌「JHAC」12-2号の編集について：内容を了承。

(11) ニュース編集小委員会（第6回・5月18日）

①ニュース紙面の企画・立案等について：「日本病院会ニュース・編集理念（案）」が示され、定義する必要性、ニュース紙面の「中期計画」を検討し、了承。②病院看護職から委員会に1名追加することを了承。

(12) 日本診療録管理学会 生涯教育委員会（第1回・5月22日）

①平成19年度年間スケジュールについて：研修会、認定試験日の日時を確認し、原案どおり了承。②第28～31回の研修会の件について：28回（6/30・大阪）、29回（7/7・東京）、30回（7/28・福岡）、31回（9/13・京都）での開催を了承。等

(13) 診療情報管理課程通信教育・コーディング勉強会（5/11～5/13）

参加者数172名。

2. 四病協関係の会議開催報告について（時間の関係上、資料一読で報告に代替）

(1) 医療保険・診療報酬委員会（第2回・5月11日）

①4月18日開催の中医協関連の報告について②第1回総合部会での要望書（案）の検討結果について：四病協として提出の一致が図れず、要望実施を見送った。

(2) 理事長の債務保証のあり方に関する勉強会（第5回・5月23日）

①厚生労働省・医政局から、医療法改正の経緯、医療法人関連についての説明。②連帯保証人に依存しない融資制度について：福祉機構から新たな融資制度の構想について説明。

(3) 総合部会（第2回・5月23日）

①声名（案）について：病院医療の危機、医療費の拡大等医療提供体制が危機的状況にあることを病院団体として実施。②日医・四病協懇談会について：予定議事内容を了承。当日の懇談会に四病協の「診療報酬改定に向けての要望」を提出することを了承。③当面の諸問題：四病協のあり方や今後の課題を各会長で話し合う場を再度設定し実施することとした。④臨床研修医の給与について：臨床研修費補助金の配分方法についての問題点を日医、厚労省、文科省も考慮し検討を図ることとした。⑤平成 20 年度税制改正要望事項（公益法人制度改革関係）（案）」について：（案）中、開設者の項目を削除し、6 項目を重点事項とした。

(4) 日医・四病協懇談会（5 月 23 日）

①医療制度改革等（グランドデザイン 2007、厚労省「医療政策の経緯、現状及び今後の課題について」、骨太の方針 2007）②医師確保③看護師問題等について意見交換を実施。

3. 日病協諸会議の開催報告について（時間の関係上、一部報告し、資料一読で報告に代替）

(1) 実務者会議（第 23 回・5 月 16 日）

①日病協代表者会議（4/24）の開催報告②中医協（5/16）の報告③平成 20 年度診療報酬改定要望事項（案）について：総括的提言（5 項目）、重点要望事項（3 項目）、一般要望事項（15 項目）を了承し、代表者会議に上程することとした。

(2) 代表者会議（第 33 回・5 月 25 日）

①「医療費抑制策からの転換を求める（要望）」を了承し、提出先については議長一任とした。

4. 中医協の開催報告について

(1) 5 月 16 日（水）に開催した基本問題小委員会で、平成 19 年度における DPC に関する調査（案）についての概要説明。平成 19 年度調査に参加する新規 DPC 準備病院の募集期間（予定）を 19 年 5 月 25 日（金）～6 月 15 日（金）となった。また、DPC の課題として、①平成 18 年度診療報酬改定における答申及び附帯決議意見を踏まえ、平成 20 年度以降の医療機能係数のあり方、各医療機関を適切に評価するために、調整係数の廃止や新たな機能評価係数の設定等について検討する必要がある。②現在、DPC 対象病院や準備病院においては、特定機能病院から専門病院まで幅広く含まれており、それらの違いについて適切に評価する仕組みを検討する必要がある旨の提案報告があった。

(2) 総会では、診療報酬改定結果検証部会で実施した特別調査（平成 18 年度調査）①保険医療機関における医療費の内容が分かる明細書の発行状況、②ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における禁煙成功率、③リハビリテーション実施保険医療機関における患者状況、④後発医薬品の使用状況、⑤歯科診療における文書提供に対する患者意識調査について検証結果が総会へ報告された。

※下記報告事項を予定したが、時間の関係上、配布資料一読で報告に代替した。

5. 公明党「医師不足問題対策本部」ヒアリングの開催報告について

・5月10日(木)の公明党ヒアリングに本会から、村上副会長、林常任理事が出席し、本会地域医療委員会で実施した「勤務医に関する意識調査」「医師確保に係る調査」の集計結果を報告。

6. アジア病院連盟の理事会開催報告について

・5月6日(香港)で開催した理事会に、山本AHF会長のほか、オーストラリア、香港、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピンが出席。AHF規約改正、11月IHF(韓国)でのAHFセッション等を協議。

7. WHO-FIC 教育委員会 WHO-FIC_IFHRO 合同委員会開催報告について

・5月9日～11日(ワシントンD.C)で教育委員会(EC)、合同委員会(JC)の委任事項についての確認。国際的訓練及び認定として、各国の死因コーダー訓練教材についての確認作業、パイロットテストの実施状況の発表、教育の相違、翻訳、費用等の諸問題を議論。

8. 医事法関係検討委員会の開催報告について

・4月27日(金)の委員会では、「医師・患者関係に関わる主な法令等」を検討。文書の作成・交付、文書の保存、秘密の保護・情報の取扱い、終末期医療、治験等について協議し、「医師・患者関係の法的再検討について」の報告書作成に取り組んでいる旨の現状報告。

9. 産科医療補償制度運営組織準備委員会の開催報告について

・5月16日(水)に準備委員会を開催し、各委員から、①患者救済②紛争解決③原因究明・産科医療の質の向上等の意見提出があった旨の報告。

10. 国民医療推進協議会の開催報告について

・5月18日(金)に推進協議会(本会も加盟)が実施した「国民医療を守る全国大会」での趣意書、決議が披露。

11. 平成19年度春の叙勲について

現職役員の宮崎忠昭副会長、山浦伊弉吉理事の受章報告。

提出議題の審議を終了し、定刻に会議を終了した。

以上